

## 福島県ふたば医療センター附属病院の概要

### 基本的な考え

- 双葉地域の医療機関や近隣の二次・三次救急医療機関、消防機関等との連携のもと、広域的な救急医療体制を構築し、3つの安心を医療の面から支える。
  - ① 住民が安心して帰還し生活できる
  - ② 復興事業従事者が安心して働ける
  - ③ 企業等が安心して進出できる
- 双葉地域の医療機関や町村との密接な連携を図り、限られた人材・医療資材の中で最大限の医療を提供する。
  - ・ 地域の医療機関からの紹介・依頼された患者に必要な医療を提供する。
  - ・ ふたば医療センター附属病院での急性期治療等が終了した患者は、地域の医療機関に紹介する。
  - ・ 要請に応じて診療所等における在宅医療を支援するとともに、患者の在宅復帰支援に向けた双葉郡町村担当者との情報交換を行う。

### 所在地

双葉郡富岡町大字本岡字王塚 8 1 7 - 1

### 診療科

- 救急科・内科（救急医及び内科医が中心となり対応）

### 病床数

- 30床（全室個室）

### 医療スタッフ

- 医師（院長以外は医大からの非常勤派遣医師）、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、作業療法士、理学療法士、管理栄養士 等

### 医療機器

- CT撮影装置、デジタルX線透視診断装置、セントラルモニタ、超音波診断装置、電子内視鏡システム、心臓マッサージシステム 等

## 提供する医療等について

### 診療

#### <方針>

- 対象患者は、原則として、「救急車で搬送された患者」、「夜間、休日や祝日など地域の医療機関が開院していない時間帯に急な発熱や腹痛などにより自分で来院した患者」、「地域の医療機関で対応困難な患者や入院等の措置が必要と判断され紹介された患者」等。
- ふたば医療センター附属病院での急性期治療等が終了した患者は、地域の医療機関に紹介する。

#### <診療内容>

##### （１）救急医療（２４時間３６５日対応）

- 「一次救急」、「高度医療や専門医療を必要としない二次救急」などを中心とした救急医療を提供する。
- 「高度医療や専門医療を必要とする患者」は、県立医科大学附属病院をはじめとする県内の救急医療機関に搬送する。
- 搬送先での高度医療や専門医療が実施された患者に対して、継続した急性期医療やリハビリを提供する。

##### （２）災害医療及び緊急被ばく医療

- 災害医療に加えて、放射性物質による汚染や被ばくを伴う患者への初期診療を行う。

## (3) その他

- 糖尿病など教育入院が必要な疾患において、地域の医療機関からの紹介患者を対象とした教育入院プログラムの実施に向け検討している。

## &lt;診療開始日&gt;

平成30年4月23日

## 在宅・訪問医療

## (1) 在宅復帰支援

- 急性期治療終了後、在宅復帰に不安のある患者に対して、医師、看護師をはじめ、リハビリスタッフ等が協力し、在宅復帰を支援する。

## (2) 訪問診療・訪問看護等

- 在宅復帰後は、地域の医療機関（かかりつけ医）からの依頼に基づき、訪問診療・訪問看護等を実施する。

## 地域包括ケア推進の支援

- 地域行政、地域包括支援センター、医療機関、介護福祉施設と連携し、地域包括ケアの一環として未治療者・重症化予防対策や認知症への対応を支援する。

## 健康増進支援

- 職員や外来講師による健康講座や研修会等を通じて、地域住民や復興事業従事者の疾病予防及び健康増進を支援する。

## 交流・研修事業

## (1) 双葉郡町村・地域の医療機関によるネットワーク

双葉郡町村の医療保健担当や地域の医療機関スタッフによる情報交換や事例検討等を通じて、地域のネットワークを強化する。

## (2) 地域の医療機関スタッフの研修

救急医療や糖尿病指導など、地域の医療機関スタッフを対象とした研修や意見交換等を実施する。

## (3) 教育・研究機能の展開

県立医科大学と連携し、大学研修プログラムへの協力や医師・医療スタッフへの研修・教育の場の提供、地域医療に関心を持つ学生の受入など人材育成に向けた支援を行う。また、健康指標や疾病予後に関する疫学等の調査・研究に協力する。

## 多目的医療用ヘリ

- ふたば医療センター附属病院や浜通りの医療機関及び消防機関等と県立医科大学附属病院をはじめとする県内の救急医療機関との連携強化による、双葉地域等における広域的かつ質の高い救急医療体制を構築するため、平成30年度から多目的医療用ヘリを導入する。

## 完 成 予 想 図

